

4) 食と農の共生に対する支援

① 農産物直売所の実態把握

対象：管内農産物直売所

1. 概要とねらい

農産物直売所は、農村の活性化や地域農業の振興に重要な役割を担っており、今後も、地産地消や都市・農村交流の場として発展が期待されている。

管内には40カ所の直売所があり、今後の支援の基礎資料とするために、これらの直売所を対象に実態調査を行った。

2. 活動内容

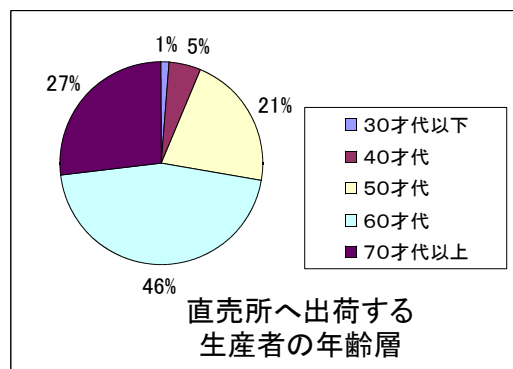
- 1) 管内の直売所（40カ所）を対象に、実態調査（直売所出荷者年齢構成・集客数の増減・売上額の増減・主な販売品目等）を行った。
- 2) 1直売所について、年間を通じた販売品目について調査した。

3. 成果

- 1) 管内の直売所へ出荷している生産者は総勢約1700人。年代別では60才代と70才代以上の生産者で7割以上を占めており（右グラフ）、男女比は6：4だった。

集客数・売上額の増減はほとんどの直売所で増加及び横ばい状態だった。

- 2) 年間を通じた販売品目の調査では、品目と出荷数及び残品数を調べた。その結果、地域特産の品目と季節限定の果物は、売れ残りがほぼなかった。他の品目については一般的な品種と特徴ある品種では、特徴のある品種の方が売れ残りやすい傾向はあるものの、レシピを付けたり、特徴を説明しながら販売したものは、売れ残りが少なかった。



4. 今後の展開方向

- 1) 多くの直売所において、集客・売上額が増加及び横ばい状態という点からも、直売所へのニーズは今後さらに高くなっていくと考えられる。このような状況のなか、個々の直売所が抱える課題の解決に対して支援していく。

5. 協力機関名

管内農産物直売所

6. 関連事業名

いきいき農産物直売所促進事業